NEW GARGE MOVIES FOR THIS CITY
インディーズムービー
INDIE'S MOVIE CINE SALAD PRESENTS
AUG·~~8~~·1993
廃刊号
発行・シネサラダ
編集人 熊谷睦子

さよおなら また会う日まで

シネサラダの誕生とともにインディーズムービーも創刊したのが1989年。
それから4年11号というのは多いのでしょうか。一応'92年6月号(vol.6)から隔月刊になった筈だったのですが、結局有言不実行になってしまいました。(いつものことかもしれない…) 10(11号)号中うち2号は3つの号という…。何故なら、くばってないからです(笑) なんたって5と6の間にナンバリングがない号があるんですから。

そして最終イヴ号の10号は手抜きのあまり、編集長自ら抹殺してしまった…。という訳で、遅載ページ等 今号に再録しました。
10号も持ってるみなさんゴメンナサイ。
そしてインディーズムービーがなくなると共に「ISM」が創刊します。
そちらの方もヨロシク お願いします。

大映画をつくってみたい!
フツーじゃない映画をみたい! そんなあなたに贈る
自主製作映画の情報紙!!

▷こちらは4ページ続きです

10号を振りかえる特集は中程に

編集後記

結局七夕の一日めに配るつもりが大幅にズレこんで3日めになってしまいました。この辺も最後まで良い意味にも悪い意味にも、インディーズムービーらしさが抜けなかったかなと。エクタクロームのトラブルでもふれましたが、マグニーが10/20をもって廃止されます。シネコピーはことわりもなく秘う。8mmは永遠にとはもえなくなってきている今日この頃。
というわけで おしまい。 (熊谷)

CINESALAD
シネサラダ シネサラによるシネサラダファンのためのコーナー!
CINE SALAD PROJECT NEWS

仙台自主製作映画(インディーズムービー)セレクション 12月18·19日に決定(8)

上映会以降、見逃したイベントのある方、もう1度見たい~と悔しく思っていた方このチャンスに是非ぜひどうぞ。
▶2日めの日曜日は、いつもの他のション上映会に戻って招待作品・新作上映をいたします。ただしワタクシ熊谷睦子プロデュースということで、ちょっと味つけが変わるかもしれないワド。
▷新作情報!! 安斉カントクがシネサラダ製作としては初の作品。「僕はこんなに」を8月クランクイン。映画をつくっている人たちを主人公にした映画だそーだ。

▶3Dの上映会はなんと2日間!!
ゆっくりこしかけて見られる戦災復興記念館4F研修室に戻ってきます!!
▶そしてこの1日めは念願のシネサラダ'sonlyの上映会だっ!!! '91年12月の4回

関西の8mm映画

ヒナラギ伝説(1991)

村上ヒョウキ(カン博士)

8mmムービーのハードが生産中止となって久しい。そんな中で、もうこれから先こんな作品にはお目にかかれまい… それが今回紹介する、水谷しゅん監督作品「ヒナラギ伝説」である。
我々の住む世界とは別の次元「ヒナラギ」の世界、そこにひょんな事から迷い込んでしまった少年と少女が繰り広げる冒険ファンタジー映画なのだが、これ1年な事カットをもう全面的にハンパじゃあないのである。まず力たとりが10ケ月の製作日数がハンパじゃあない(前後はせた完成させた前のカットをとは書く云ったものだが、それ以上に完成させた前のカットを非常らしいのだね…)んでもってそれらが映画のゲージョン手段がハンパじゃあない(もちろんそれらが映画のゲージョン手段が続けないのだ、スゴい!)そして衣装・ロケーション・小道具による異世界表現のトータル感は、こまぎれた人マとしり・ファンルの作品では見当の出来である。はたまギラ人マとしり(個人名)を持つ見人物の物語名(うちヒナラドラ気に入ったー語多いぞ!!)の絵どが効力的で部屋のセピア色にも見当の出来である。その中でも演者のカン博士(右イラストの)はヒナラギ人のカン博士役の村上とよゆき氏の風貌はウィリアム又といった感じであります。
で結局何が云いたいのかと云いますと、是非皆様で実際に見ていただきたい作品なのだよ。「ヒナラギ伝説」は、って事なのです。品番々々一度借てみてください! てっとり早い方法としてはビデオを入手するのが良いかと思います。(現在新発売中の「宇宙船」Vol.6に紹介記事と問い合わせ先が載っております)
お金を払う前に おしなさいって!
(相変わらずまとまりない文章だな… ったく(!!)

お楽しみはこれからだ!! MAYBE YOU AIN'T WATCHED NOTHIN' YET! 第四回

西幕幸

MY EIGA Collection 第3回 東北大学 DE·PALMA

空は雲ひとつない青空。林のなかの木々が淡とす緑はくっきりとした葉。絶好の撮影日和だ。フィルムは買い溜めしておいたものがたっぷりあるし、レンズに曇りひとつないカメラをのぞいてカメラマンがこっちを見ている。いったいなんの問題があるというのだろう。僕は何度となくついた溜め息をまた新たに吐き出し、うずくまって脚本とにらめっこしている女優を振り返った。「言ってみれば簡単なことだと思うよ」
「でも・・・恥ずかしい」
僕は太陽が山の陰に入ってしまうことを恐れて焦っていた。「カメラが苦いのは分かる上。僕だって最初はすごく緊張したんだから」彼女は溜め息をついて立ち上がった。僕はすかさずカメラマンに目配せをだす。「じゃあ本番行きます。よーい、スタート!! 彼女はカメラにむかってしゃべりはじめた。
「あなたの思っているように世界はできていないわ。そこにある、ということが存在だなんて誰も思ってないのよ。そうよ(目の端で笑う) 不安こそがわたしたちを動かしてるのよ」

D氏・PALMA氏は三年前に結成された。まだ新しいサークルです。集まった人たちは個性派ぞろいで、そのせいか D氏・PALMAのカラーみたいなものはほとんどありません。ですが、一本の作品を皆で作ってたかって作り上げるので、その個性のぶつかり合いの面白さを感じていただけたらなぁ、と思っています。5月30日に仙臭復興記念館で上映会やります。とにかく力作ぞろいだぁ!!

文責 小林健太郎

偏列伝 その④ 筒井美筆さん

フィルモグラフィー
「ムーライト·シャドウ」(声·'92)、「夢幻少女サイコハンターD活劇編」('92)「うきこそものの賑やかなれ」('93)

★宮城学院女子大の演劇部で活躍中のところをスカウトされ、奈良純監督の「電気竜」(制作中…?)に参加したのをきっかけに、次々と自主映画の世界にのめりこんでいくかのように見える筒井さん。「D活劇編」での活躍ぶりは、「うきこそものの~」でバリバリアップして見れるぞ!!

その⑤ 期待の新人 羽角奈緒(はすみ)ちゃん♡

★自主製作映画セレクションクでオープニング上映したオムニバス映画「五匹の子ブタとチャールストン」の中で斎藤監督の「あこがれ」に出たのが奈緒ちゃん。あのJR見のシンデレラエクスプレスCMばりの重要のシーンを飾った。あの美少女ですよ。なんと彼女ゴクミやフジミを輩出したオスカーの美少女コンテストで"新女"だったという経歴をもつ。ゴクミ、フジミの次ははすみだ! なみかも